

摩擦材と摺動材の
違いは？

摩擦材と摺動材の違いは？

英語で言うと**摩擦材**は **friction material**、**摺動材**は **sliding material** です。
ここで**摩擦材**は、「ブレーキやクラッチなどの運動部位を静止させる材料」で**高摩擦の材料**になります。それに対して**摺動材**は「すべり運動する部位に使われる材料」で比較的**低摩擦の材料**を指します。しかし同じすべり運動という分類においては、摩擦材も回転すべり運動をさせていることになるので摺動材の一部と言えますが、摺動材は一般的に低摩擦の材料を指すことが多いので摩擦材とは区別します。**最近**は**摺動材**というより、**低摩擦材料**、**超低摩擦材料**など、より低摩擦を特徴とする名称の方が多く使われています。

摩擦材で使われる「摩擦」とは？→一般的な摩擦のニュアンスより、材料の**高摩擦性**を利用する意味合いが強いが、
摺動材を含め一般的に使われることもある
摺動材で使われる「摺動」とは？→**エンジンに代表される低摩擦の素材および表面処理**を指して言うケースが多い。

摩擦材種類：ブレーキ摩擦材（乾式、湿式）、クラッチ摩擦材（乾式、湿式）
一部に溶射を用いた事例あり、ゴム

摺動材種類：樹脂（PI,PEEK,PA,POM）、硬式・軟式表面処理＆コーティング

摩擦材に使われる素材：フェノール樹脂、紙（湿式）、ガラス繊維、金属繊維
カーボン繊維、鉱物繊維、金属粉、有機・無機ダスト、
ゴム素材、黒鉛、無機粉、

摺動材に使われる素材：樹脂素材、ガラス繊維、炭素繊維、有機・無機粉、
コーティング用（カーボン、金属）、